

2024年9月3日

報道資料

一般社団法人電子情報技術産業協会

## Green x Digital コンソーシアム、 「CO<sub>2</sub>可視化フレームワーク」および「データ連携のための技術仕様」の 先行活用事例を公開

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 津賀 一宏 パナソニック ホールディングス株式会社 取締役会長）が事務局を務める Green x Digital コンソーシアム（読み：グリーンカケルデジタルコンソーシアム）は、CO<sub>2</sub>データ\*可視化に関する先行事例をまとめ、本日、コンソーシアムの Web サイトで新たに公開したことを発表しました。

今回公開したのは、Green x Digital コンソーシアムの「見える化ワーキンググループ」（主査：稲垣 孝一 日本電気株式会社）が作成した「CO<sub>2</sub>可視化フレームワーク」および「データ連携のための技術仕様」の先行活用事例で、算定などを支援するソリューション企業の事例や実際に算定を行っているユーザ企業としての事例、それらを支えるコンサルタント企業の事例をそれぞれまとめています。同コンソーシアムの Web サイトに事例を公開することにより、各業界における活用が広がり、CO<sub>2</sub>排出量算定の取り組みが加速することが期待されます。

詳細は Web サイトをご参照ください。

Web サイト：[https://www.gxdc.jp/case\\_study/](https://www.gxdc.jp/case_study/)

今後、同コンソーシアムでは社会全体での活用を促し、より使いやすく、普及を推進するため、「CO<sub>2</sub>可視化フレームワーク」の活用方法を実務者目線で解説する教育セミナー事業を展開する予定です。詳細につきましては改めて発表いたします。

### \* CO<sub>2</sub>データについて

本プレスリリースおよび CO<sub>2</sub>可視化フレームワークにおいては、IPCC が定める温室効果ガス排出量（GHG 排出量）の CO<sub>2</sub>等価量（kg-CO<sub>2</sub>e 等と表記される）を指す。二酸化炭素以外の温室効果ガスを含む。

### ■Green x Digital コンソーシアム（グリーンカケルデジタルコンソーシアム）

環境関連分野のデジタル化や新たなビジネスモデルの創出などの取り組みを通じて、2050年カーボンニュートラルの実現に寄与することを目的に、2021年10月に設立。サプライチェーンにおける CO<sub>2</sub>排出量の可視化や再生可能エネルギー導入などをテーマに会員間の共創促進を図る活動を展開する。座長は越塚 登（東京大学大学院 情報学環 教授）。会員数は150社（2024年8月1日時点）。Web サイト：<https://www.gxdc.jp/>

【本件に関する企業関係者からのお問合せ先】

Green x Digital コンソーシアム 事務局

(一般社団法人電子情報技術産業協会 事業戦略本部 グリーンイノベーション部)

E-mail : [green\\_digital@jeita.or.jp](mailto:green_digital@jeita.or.jp)